

2022年12月5日

一般社団法人 電子情報技術産業協会  
事業推進部

## JEITA 「IoT 向けエネルギーハーベスティングの動向と標準化セミナー」ご案内

新型コロナウイルス感染症の流行により、DX化やネットワーク活用の加速など、経済や企業の取り組みが大きく変わりつつあります。ニューノーマル時代に様々な対応が求められる今、エネルギー供給の仕組みも変革を迎えています。

JEITAでは、将来のエネルギーハーベスティングに係る動向調査及び標準化を進めております。その活動の一環として、IoTのための独立電源としてのエネルギーハーベスティングに関する先端技術を俯瞰し、その現状と将来を議論することを目的に、当初産総研（主催）とJEITAの共同で開催していた「エネルギーハーベスティングに関する研究会」を継続して、表記セミナーをJEITA主催で開催しています。六回目となる今回も、各分野の第一線で研究開発に取り組まれている方々に、エネルギーハーベスティング技術の動向や標準化に関してご講演頂き、さらなる議論を深めたいと考えています。

JEITA会員企業はもとより、本テーマに関心のある多くの方々に是非参加頂きますよう、ご案内致します。

**日 時**：2023年1月17日(火) 13:00~17:30

- 公式サイト：<https://www.jeita.or.jp/form/custom/221/form>
- 主 催：ナノエレクトロニクス標準化専門委員会／ナノ太陽電池標準化G
- 開催形態：Webexによるリモート講演
- 参加費：3,000円（資料代・消費税含む）

- 申込方法：上記公式サイトからお申し込み下さい。  
お申込み頂いた方には、後日、電子請求書を送付させていただきますので期日までにお振込下さい。

また、資料及びWeb参加案内は、開催3日前を目途にご連絡致します。

- 申込期限：2023年1月12日(木)

- 事務局：一般社団法人 電子情報技術産業協会 事業推進部（布川・澤田）  
E-mail [tsc4@jeita.or.jp](mailto:tsc4@jeita.or.jp)

■■■■プログラム■■■■

13:00 【開会挨拶・趣旨説明】

奥 良彰 JEITA ナノエレ標準化専門委員会ナノ太陽電池標準化 G 副主査  
ローム(株) 研究開発センター

13:05 【6G/ZED】「6G(第6世代移動通信システム)の主要プレーヤーが実現を目指す  
ゼロ・エネルギー・デバイス」

竹内 敬治 氏 (株)NTT データ経営研究所 社会・環境戦略  
コンサルティングユニット シニアマネージャー

概要：2030年頃に商用化が見込まれる6G。エネルギーハーベスティングが、6Gの標準的な技術として取り込まれる可能性があります。ゼロ・エネルギー・デバイスを巡る、世界の主要プレーヤーの最新動向について紹介します。

13:55 【圧電EH標準化】「圧電MEMSと圧電EHのIEC国際標準化活動」

神野 伊策 氏 神戸大学 大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授

概要：圧電材料の特徴とその振動発電デバイスの原理、更に圧電薄膜材料の計測方法と圧電EHの国際標準化の取り組みについて紹介します。

14:45 【EH/IoT】「人に優しいCPSを実現するエネルギーハーベスティングとその未来」

秋永 広幸 氏 産業技術総合研究所 デバイス技術研究部門 総括研究主幹

概要：実世界とサイバー空間が相互連携したCPS(Cyber Physical Systems)の高度化が、Well-beingであることを願う私たちの生活に相反しないものとなるためにエネルギーハーベスティング関連技術は何ができるのか？幾つかの事例をご紹介します、その未来の姿を考えます。

15:35 【EH関連】「超低消費電流技術「Nano Energy™」のエネルギーハーベスト分野への貢献」

永里 政嗣 氏 ローム(株) LSI事業本部 事業部統括  
パワーステージ商品開発部 技術主幹

概要：エネルギーハーベスタからのエネルギーを効率的に活用するためには、蓄電素子に電力を貯めておき、使用する時にのみ放電するといった動作をさせるのが効果的である。本発表では、弊社の超低消費電流技術「Nano Energy™」の効果と、発電効率の良い振動発電と高効率の蓄電ユニットを組み合わせる取り組み状況について説明します。

16:25 **【EH 社会実装】**「環境発電技術搭載の電池交換レス & 配線レス環境センサー/CO<sub>2</sub>センサー」

兼為 直道 氏 (株) リコー RICOH Futures BU

Energy Harvesting 事業センター 設計開発グループ

概要: 弊社では、有機系太陽電池の技術開発から、それを搭載した IoT 機器、データ管理をするためのクラウドサービスの事業を展開している。本発表では、「充電のない世界」に向けたこれらの取り組みについて紹介します。

17:15 **【JEITA 活動】**「屋内用太陽電池の評価方法の標準化」

荒牧 晋司 氏 JEITA ナノエレ標準化専門委員会ナノ太陽電池標準化 G 主査

三菱ケミカル (株) Science & Innovation Center

概要: JEITA ナノ太陽電池標準化 G では、太陽電池の屋内用途への応用を推進するため、屋内光での評価方法の標準化に取り組んできました。まず JEITA 規格を策定し、それを IEC に国際提案して、近々発行される見込みです。その標準の内容に加え、標準化の意義について解説します。

※ プログラムは変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。